

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	令和2年9月23日 午後7時00分から午後8時27分まで
3 会場	武石地域自治センター2階 第1会議室
4 出席者	池内俊郎会長、金子るり子副会長、池内万雄委員、荻原輝夫委員、金井修一委員、金井律子委員、小林明美委員、小山和博委員、小山ひろえ委員、城下昌史委員、鈴木三千夫委員、滝沢友子委員、橋詰明德委員、橋詰正江委員、宮下覚委員、宮島友和委員、依田せつ子委員【欠席委員3名】
5 市側出席者	大平地域自治センター長、滝沢地域振興課長、樋口教育事務所長、小山市民サービス課長、遠藤高齢者支援担当係長、佐藤産業建設課長、宮下商工観光担当係長、芳池丸子・武石上下水課長、坂部地域政策担当係長、増田主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	1人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和2年9月 日
協 議 事 項 等	

1 開 会 (金子副会長)
2 あいさつ (池内会長)
3 報告・協議事項
(1) 「上田市武石老人福祉センター寿楽荘」の廃止に伴う意見書について (市民サービス課説明)
(会長) 地域協議会として
① 「上田市武石デイサービスセンターやすらぎ」の今後の運営について
運営の形態が変更となることで、利用者への事業サービスの低下がないよう、詳細な引継ぎを希望する。
② 「武石地域総合センター」整備に伴う「上田市武石老人福祉センター寿楽荘」の廃止について
武石地域総合センターは、高齢者福祉の機能も備わることから、これまで寿楽荘を利用されていた団体の皆さんも、利用しやすい施設になるよう願う。
また、寿楽荘を解体した跡地については、公共性の高い活用を希望する。
以上2件の意見書を上田市長へ提出したいがいかがか。
<b>【質問・意見等】</b>
～ 質疑・意見なし、後日意見書提出 ～
(2) 雲溪荘に関わる住民アンケートの結果について (報告) (産業建設課説明)
<b>【質問・意見等】</b>
(会長) 利用促進のためのアンケートであるが、最終的に雲溪荘存続の可否又は、存続の場合の在り方について検討していくためのベースになる情報でありデータになるので今回のアンケート結果を参考に解析していきたい。
今後、存続の可否に関する住民アンケートは行われるのか。
(産業建設課) 今後のスケジュールとして、次年度8月頃に第2回住民説明会、10月頃に施設の在り方を確認する住民アンケートを予定している。
令和3年度にある程度の方向性を決定しなければならないので、このようなスケジュールになっ

ている。

(会長) 前期の協議会で上田市へ要望し、令和4年度までの予算付けの確認はできている。

来年の夏までに第8期の地域協議会として協議していきたい。

雲溪荘に限らず、指定管理を行っている市の温泉施設の営業赤字は市からの補填がないと維持できない状況にある。(途中、雲溪荘の経営状況について資料を基に会長の分析有) 武石の雲溪荘の当時の設立目的は、住民の福祉・保健休養施設、社会インフラとしてスタートした経緯があるので、単純に赤字経営が続くから廃止するという事にはならないが、赤字の解消に向け地域として何ができるか等、維持する目的の研究を重ね努力をしていかなければならない。

今回は、アンケート結果報告なので、今後委員の皆さんには資料をよく理解していただき対策の研究をしていただきたい。

(委員) アンケート結果では、地域の発展のための存続希望がある反面、税金をかける必要があるのか? 地域住民の利用度が低い等、意見が様々である。また当地域から、ピコが撤退し、JAが縮小され、活性の基盤となる施設が減っている中で、雲溪荘の存続のために我々が何をしたらよいか、単純に住民が利用すれば存続できるのか? 根本的な課題が見えない中で、存続か廃止かを含め、難しい課題を突き付けられている。

(会長) 黒字経営にしなければ存続できないのかの議論ではなく、どの程度まで市の補填を減らしたら存続できるのか、残すとするならば地域の負担はいくらまで出せるのか、我々ができることは何か等を抽出し、議論して、意見書にしていきたい。

### (3) 武石地域全域公園化構想について (協議)

(会長) 前回の会議で第二次武石地域全域公園化構想での取組について、今後四者協議会で具体的な取り組み項目を作っていくことになり、宿題となっている【実績の検証・事業の仕分け】中の第二次公園化構想での実施内容の提案をお願いしたい。新しい提案でもよい。今後は、市に対して令和4年度以降、予算要望していく予定。

また、当協議会へ、去年の台風で流されてしまった唐沢川地区のあじさい公園の復興を市へお願いしてもらいたいと、唐沢小原自治会と郷土の森整備協議会の二者から『唐沢川あじさい公園復興(復刻)事業』として要望書が出されている。

公園化構想の一環として従来にあじさい公園については一定の市としての力添えもあり、地元も頑張ってきたが、台風被害で流れてしまったので復元しないといけないという要望で、地域協議会の他に上田市長と住民自治組織「住みよい武石をつくる会」へも同じような内容で要望書が提出されている。

唐沢川あじさい公園復興事業として『苗木の配布や遊歩道の整備、ボランティア等の協力支援』を市へ要望していただきたいとのことであり、公園化構想の一環でもあることから当協議会として受け取るが、範囲・作業等、具体的なものが見えないので、再度確認する必要がある。

(委員) 「公園化構想」は響はいいし、聞こえはいい言葉だが、予算化するのか等具体的な施策が見えない。例えば、バイパスの沖からうつくしの湯までの間で、ブタクサが生い茂り、荒廃農地もある。単に花や木を植えるだけではなく、荒廃しているところの清掃美化も必要。過疎化で人口も減りマンパワーには限界があり、空き家対策人口対策も含めての対策をしたらどうか。

(会長) 「公園化構想」は漠然としていて、毎年地域協議会の課題として検討はしているが、施策の方向性を見いだせてはいない。7年目を迎えた今でも、取り組みは何をやる? 花や木を植えるだけ? 等課題はあるが、草刈りをやっている自治会やボランティアによる活動も行っており、住環境整備も併

せた予算化はしているが、具体的なイメージがつかめない中でなかなか進まない状況にあり、これから具体的なものを作っていく。

(委員) 自分は、武石新橋の公園整備を行っているが、公園化構想に沿った取り組みをしていきたいと思っているので、具体的な方向性を提示してほしい。また、武石川のアカシアの木は、台風災害後に伐採してきれいになってきてはいるが、今後も継続的にアカシアの木を切って環境・景観整備につなげていければよいと考える。

(会長) 過去の事業にもあり、アカシアを伐採して薪利用した経過もある。

また、河川内のアレチウリが勢力を広げ、自治会で駆除はしていただいているが追いつかない状況にある。今後抜本的な継続的な対策が必要と思う。

4月に四者協議会を開催する予定であったが、コロナ感染対策のため開催できてはいない。

【会長が再度意見・提案を求めるが発言なし。】

(委員) 番所ヶ原スキー場の災害復旧について、練馬区のスキー教室は中止になって、経営状況は厳しいものがあると思うが、現在の復旧状況と今後の再開はどうか。

(産業建設課) 現在、ゲレンデの災害復旧工事はほぼ完了しており、第1第2リフトの復旧工事も12月25日のオープンに向け間に合うよう進めている。練馬区のスキー教室については、コロナ感染防止対策のため、今年度の開催は練馬区が中止とした。自治センターとしては、練馬区に対して、今年度の中止は理解するが、コロナ対策の状況もあるが、来年度以降の利用について確約をもらっている。今年度は、ベルデ武石の改修も終了していることから、スキー場の利用については、練馬区民の皆さんや、地域住民の皆さんの利用を図っていきたくと考えているので、促進に向け皆さんも協力していただきたい。

(武石自治センター長) 武石地域自治センターとして、無事災害復旧し、復活し安全に滑走できるスキー場をアピールしていきたいので、協議会の皆さんの協力をぜひお願いし、活性化させていきたい。

(会長) 委員からの提案・意見を確認して協議終了。

#### (4) その他

第4回地域協議会の日程について

日時：10月21日（水）午後7時から

場所：武石地域自治センター 第1会議室

#### 4 閉 会（金子副会長）

恥ずかしがらずどんな意見でもよいから出していただくことにより、協議会が活発になると思うので、よろしくお願ひしたい。